

第2学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年11月18日(水) 5校時 2年2組教室

2. 議題「めちやくちや きあい しゅう会をしよう

～きょう力バージョン～

学級目標 「きあい」

① きょうりよく

② あいさつ

③ いっしょうけんめい

3. 議題について

(1) 児童の実態 23名

明るく元気な児童が多く、休み時間になると友だちを誘い合って、ピアノを弾いたり、外遊びをしたりしている。キラキラタイムで継続的に取り組んでいる大縄では、みんなでかけ声をかけたり、入るタイミングを教えたりする姿が見られ、友だちと一緒に頑張ることに関心をもち始めている。記録が伸び、学級全体で喜ぶ様子から、友だちと協力して頑張ることは楽しいと感じているところである。

今まで、学級会は「みんながより仲良くなるために取り組むもの」「学級会、集会を通して、学級目標に近づくもの」と伝えてきた。学級会を楽しみにしている児童が多く、学級会が近づくとき背面黒板の学級会コーナーに出ている意見について話をしたり、自分の思いを友だちに伝えたりする姿が見られる。今年度は今まで6回の学級会を行い、集団決定したことを実践してきた。実践に向けて友だちと協力して準備することで、仲の良い学級になってきていることを実感している。

これまで、話し合うこと①で「何をするか」を決定し、話し合うこと②で「決まった遊びの工夫」を考える流れを基本としてきた。話し合うこと①でどの遊びに決まっても、話し合うこと②で遊びの工夫を考えることにより、選ばれた遊びが話合いのめあてに近づき、学級のみんなが納得する形で決定することができている。これまでに「大縄300回頑張ったね集会」や「夏、サヨナラ集会」などの集会でやる遊びについて話し合ってきた。「大縄300回がんばったね集会」では、「学級でもっと協力して、記録を伸ばしたい」という提案者の思いから、話合いのめあてを「きょうりよく」として学級会を行った。集会では、学級のみんなで肩を組む場面があり、子どもたちが協力を感じられる集会になった。「夏、サヨナラ集会」では、「あらし、あらし、大あらし」と「ドッジボール」の意見が対立し、「何をするか」がなかなか決まらずに話合いが停滞する場面があった。最終的には2つの意見を合わせることでみんなが納得する決定をし、子どもたちは色々な決定の仕方に気づくことができた。学級会を通して、みんなと協力して準備、集会をしたことによって、協力することが楽しいと感じ始めたところである。

(2) 議題選定の理由

今までの学級会の様子から、子どもたちが協力して取り組んでいる姿はよく伝わる。後期に入り、「学級目標にさらに近づくために、どのような学級会をすればよいか。」と投げかけてきた。その中で、「冬パーティー」「子どもまつりお疲れ様集会」「学習発表会頑張ろう集会」「きあい集会」が提案された。提案者、司会グループと相談したところ、学級目標の言葉を前面に出し、これまで以上に意識して学級会をすることで、学級がもっとよくなると発案され、「きあい集会」を取り上げることにした。今回は大縄の練習に熱が入り始めたところであることから、学級目標の一つである「きょうりよく」に焦点をあてて、話合いをし、「あいさつ」「いっしょうけんめい」については、後の学級会、特活タイムでどのような取り組みをするか考えることにした。学級目標を意識することで、3年生に

向けて学級を盛り上げていこうという気持ちが高まってほしい。また、協力をキーワードとして、学級会、準備、集会をすることによって、学習発表会や大縄の練習にも影響を与え、学級のみんなが、協力することは楽しいと感じられるようになると考え、本議題を選定した。

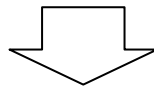
4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合っ て実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 期待感がふくらむ学級会をめざして



低学年の目指す子ども像：

自分の気持ちを伝えたり、友だちの考えをよく聞いたりして、仲良く活動できる子

教師の思い

ほとんどの児童は自分の気持ちを伝えられるようになってきたが、自分の気持ちだけを優先してしまう児童もいる。そのため、学級会をする中で、友だちの意見もよく聞き、他者の考えのよさにも少しずつ気づいていってほしいと考えている。自分が楽しむためだけではなく、友だちのことを考えた意見や、友だちのよいところを認めた発言を学級に広めていきたい。

本時では話し合うこと①で決まった遊びに対して、話し合うこと②で協力する工夫を考える。決まった遊びが工夫され、協力してよかったと感じられるものになることを期待している。また、話し合いがわかりづらくなったときや、工夫のよさを広めたいときは、出ている工夫を実際にやってみることで実践への期待感をさらに高めていきたい。

準備や集会では、一つのことに向かってみんなで協力し合う喜びを味わい、集会後に「みんなで、協力できてよかった。」という思いを分かち合ってもらいたい。また、本時の「きょうりょく」に焦点を当てた学級会を受けて、他の学級目標である「あいさつ」や「いっしょうけんめい」を達成するためには、どのような活動をすべきか考えてほしい。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
11月9日(月) 休み時間	司会グループと担任で議題の選定をし、学級会のめあてを決め、役割分担をする。	○提案者の提案した理由を明確にすることで、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合い、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <活動の様子>
11月11日(水) 朝の会 休み時間	議題と提案理由、話合いの柱を学級に伝える。 議題に対して意見を集め、学級会コーナーに掲示する。	○提案者の思いを伝え、一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○話合いの柱を確認し、学級会のイメージがわくようにする。
11月17日(火) 特活タイム	出ている意見について実際にやってみるなどして確認し、共通のイメージをもつ。	○意見を出した児童が説明をし、共通の理解になるようにする。
11月17日(火) 休み時間	司会グループと担任で学級会の流れを話し合う。 役割分担に従って話合いの進め方を確認する。	○司会グループが学級会の場面をイメージできるように、必要な助言をする。 ☆学級会の進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) <活動の様子>

(2) 本時の活動

- ①ねらい みんなでもっと協力できる遊びを考えることができる。
- ②本時の視点 友だちの考えをよく聞き、自分の考えと似ている点や違いに気づいていたか。
実践にむけて、期待感をもって話合いに臨んでいたか。
- ③児童の活動計画 計画委員会カード 別紙 (当日)
- ④教師の指導計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
1. はじめの言葉	○見通しをもって会を進められるように、学級会カードや司会台本、黒板記録で、進め方や記録の仕方を事前に確認する。
2. 司会グループの紹介	○自信をもってはっきりと話すことができるように、司会台本を用意し、必要に応じて話す言葉を助言する。
3. 議題、提案の理由、話合いのめあての確認 議題:「めちゃくちゃ きあいしゅう会 をしよう ～きょうカバージョン～」	

提案理由：「みんなでもっと『きあい』（学級目標）ができるといいと思ったからです。」

めあて：みんながきょう力できるあそびを考えよう。

4. 決まっていることの確認

決まっていること

- ・遊びは一つ決める。
- ・教室でやる。
- ・日時 11月25日（水）5時間目

めちゃくちゃ きあいしゅう会
～きょう力バージョン～

1. はじめのことば
2. うた
3.
4. きあいのことば
5. 大縄（校庭）
6. 先生のお話
7. おわりのことば

5. 話し合い

話し合うこと1 何をやるか

集められた意見を黒板に貼っておく。

- ①意見を比べる。
- ②意見をまとめて、決める。

話し合うこと2 協力できる工夫を考える

- ①意見を集める。
- ②工夫した意見を分かり合う。
- ③意見をまとめて、決める。

6. 決まったことの確認

7. ふり返りタイム

8. 先生の話

9. 終わりの言葉

☆司会グループとして自分の役割を果たしている。
（集団の一員としての思考・判断・実践）
<活動の様子>

○話し合いのめあてからそれた場合には、確認するように全員に助言する。

○司会が話し合いの進め方などでつまづいている時は、全員に問いかけたり助言したりする。

○話し合いがわかりづらくなった時や、工夫のよさを広めたい時は、出ている意見を実際にやってみて理解できるようにする。

☆友だちの意見を認め、よりよい協力できる遊びを考えている。

（集団の一員としての思考・判断・実践）

<活動の様子>

○実践を意識したふり返りになるように声をかける。

○意見のよさを活かそうとした発言や、つながりのある発言、めあてに沿った発言などを取り上げて賞賛し、実践への意欲付けを行う。

⑤板書計画

<p>だ い 七 回 き あ い 学 き ゆ う 会</p> <p>ぎ だ い</p> <p>「め ち ゃ く ち ゃ き あ い し ゆ う 会 を し よ う 〜き ょ う か ば ー じ ゃ ん〜」</p> <p>て い あ ん り ゆ う み ん な で も つ と き あ い が で き る と い い と 思 っ た か ら で す。</p> <p>め あ て み ん な が き ょ う 力 で き る あ そ び を 考 え よ う。</p> <p>は な し あ う こ と ① い す と り ゲ ー ム ば く だ ん ゲ ー ム フ ル ー ツ バ ス ケ ャ ッ ト 宝 さ が し</p> <p>は な し あ う こ と ② き ょ う 力 で き る く ふ う。</p>	<p>き ま っ た こ と の か く に ん ふ り か え り タ イ ム</p> <p>先 生 の 話</p> <p>お わ り の こ と ば</p>	<p>き ま っ て い る こ と</p> <ul style="list-style-type: none"> 十一月二十五日水曜5時 間目にやる。 場所は教室。 やることを一つきめる。
---	--	--

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
11月18日(木) 帰りの会	学級会カードの記入をする。	○話合いのよかったところや自分の思いをふり 返り、カードに記入できるようにする。 ☆学級で一つの活動を決めることの大切さにつ いて理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) <学級会カード>
11月19日(木) ～24日(火) 特活タイム 中休み	役割分担をし、準備を進める。	○自分の役割を意識できるように、決まった計 画を学級会コーナーに掲示し、作業が進められ るようにする。 ☆集会に向けて友だちと協力し、意欲的に準備 を進めようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <活動の様子>
11月25日(水) 5時間目	「めちやくちや きあいしゅう 会 ～きょうカバージョン～」 をする。	○集会でよかったことや準備などの活動を通し て、全員で取り組む楽しさを実感できるように する。 ☆話合いで決めた内容を理解し、友だちと協力 して取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <活動の様子>

11月25日(水) 帰りの会	集会をふり返り、学級会カードに感想を書いて交流する。	○集会を終えて感じたことや、これからに向けての思いを伝え合い、学級全体の気持ちを高められるように声をかける。 ☆自分たちの活動をふり返り、今後の活動に活かそうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <学級会カード>
-------------------	----------------------------	---